

常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年6月25日(金)
その2

◇ 35年の時を経て ～写真で見る 本校の歴史 その③～

昭和62年4月撮影



上段は移転新築当時(S62撮影)、中段は現在(R3撮影)の写真。

桜階段左側の「ソメイヨシノ」、右側の「ハクモクレン」の幹の太さ、そして生垣の葉を茂らせた「ツツジ」と「ツバキ」の生長に、年月の積み重ねが窺い取れる。

令和3年4月撮影



下段の2枚の写真は数年前(H28とH30)に撮影したもの。積年の風雨により白壁の塗装が剥がれ、コンクリートがむき出しとなる。コンクリート表面の凹凸はコケの剥離を妨げコケを成長させたのだ。

見比べると、壁面の再塗装の効果が確認できる。

そして【いいお知らせ】。

本校校舎壁面の補強・再塗装(お色直し)工事が「本決まり」の模様。

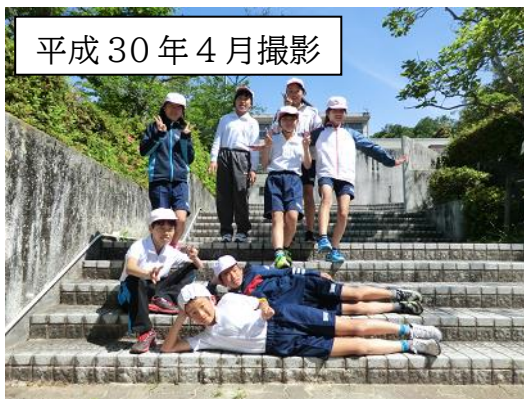
2学期以降に工事着工らしい。

工事期間中は校舎がネットで覆われて、教室が少しばかり暗くなる。教室からは自慢の「常磐の緑」は眺められないし、工事に伴う制約も発生する。しかし、

平成28年4月撮影



平成30年4月撮影



ここは少しばかり我慢しよう。

再塗装の桜階段よりきれいな【白亜の校舎】が待っている。

★★★おまけ☆☆☆



昭和 62 年度の卒業式の記録写真。
卒業生の門出を祝う在校生の鼓笛演奏の写真。

全体の様子を見ても児童数が今より多いことが分かる。当時の全校児童数は 117 名。現在の 2 倍以上である。※令和 3 年度の児童数は 49 名

大小の太鼓、鍵盤ハーモニカ、鉄琴、シンバルは現在も同じ。

緑→トランペットがありました。

青→後方の下級生が着ているのは制服？

注目すべきは、

指揮者が持つ赤→指揮棒。



新築移転当時の思いが受け継がれた【魂の指揮棒】。※黄色グリップは交換 他は当時のまま